

# 道 徳

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年 (調査冊数)
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	道徳 1 1 2 2 1 2 3 1 2 4 1 2 5 1 2 6 1 2	A B 1,050	令和5年  (42冊)
17	教育出版	教 出◆	道徳 1 1 3 2 1 3 3 1 3 4 1 3 5 1 3 6 1 3	A B 1,030	
38	光村図書	光 村◆	道徳 1 1 4 2 1 4 3 1 4 4 1 4 5 1 4 6 1 4	B 5 変型 1,092	
116	日本文教出版	日 文◆	道徳 1 1 5・1 1 6 2 1 5・2 1 6 3 1 5・3 1 6 4 1 5・4 1 6 5 1 5・5 1 6 6 1 5・6 1 6	A B 1,356	
208	光文書院	光 文◆	道徳 1 1 7 2 1 7 3 1 7 4 1 7 5 1 7 6 1 7	A B 1,104	
224	Gakken	学 研◆	道徳 1 1 8 2 1 8 3 1 8 4 1 8 5 1 8 6 1 8	A B 948	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」(学校教育法第34条第2項に規定する教材)の発行予定があることを示しています。

「採択資料1」【都立小学校調査研究資料(内容 a)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 特別の教科 道徳

発行者の番号 呼称		学年	2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	208 光文	224 学研
内 容 a	他者を価値のある存在として尊重する態度の育成に資する教材の扱い	第一学年	はなばあちゃんのために、大きな紙やクレヨンでたくさんの花を咲かせる子供たちを通して、「親切、思いやり」について考えることのできる教材(はなばあちゃんがわらった)を扱っている。	やまがらに温かい心で接し、親切に接するほそさぎの姿を通して、「友情、信頼」について考えることのできる教材(二わのことり)を扱っている。	おさるさんの助言を聞き、みんなで遊ぶことよきに気付こうとしているくまさんの姿を通して、「公正、公平、社会正義」について考えることのできる教材(ジャングルジム)を扱っている。	くまの温かい心に触れ、親切にすることの心地よきに気付いたおおかみの姿を通して、「親切、思いやり」について考えることのできる教材(はしのうえのおおかみ)を扱っている。	自分の好き嫌いに捉われず、相手の立場に立って行動した子供たちの姿を通して、「公正、公平、社会正義」について考えることのできる教材(やさいむらのこどもたち)を扱っている。	身近なおばあさんに対して温かい心で接し、親切にしているはやとの姿を通して、「親切、思いやり」について考えることのできる教材(はやとのゴール)を扱っている。
		第二学年	給食当番時に、友達によってよそ量を減らしていたことをおかりさんに指摘されたほくを通して、「公正、公平、社会正義」について考えることのできる教材(大きなフルーツポンチ)を扱っている。	運動が苦手な友達に思いやりの心で接するほくの姿を通して、「公正、公平、社会正義」について考えることのできる教材(ほくたちのハッピーエール)を扱っている。	うさぎの思いやりのある言動をきっかけに、親切にできなかったきつねが、自己の行いを振り返って考えている姿を通して、「親切、思いやり」について考えることのできる教材(くりのみ)を扱っている。	まおの言葉をきっかけに自身の言動を振り返り、誰に対しても同じように声を掛けようと考えたゆかの姿を通して、「公正、公平、社会正義」について考えることのできる教材(ドッジボール)を扱っている。	嵐の日に、困っているぐみの木のために行動する小鳥の姿を通して、「親切、思いやり」について考えることのできる教材(ぐみの木と小鳥)を扱っている。	島に渡ることができないりすと、どのようにして一緒に遊ぶかを話し合う動物たちの姿から、「公正、公平、社会正義」について考えることのできる教材(およげないりすとさん)を扱っている。
		第三学年	上級生から親切にされたことをきっかけに、自分から進んで親切にするわたしを通して、「親切、思いやり」について考えることのできる教材(やさしい人大さくせん)を扱っている。	車椅子で生活しているひろみさんに温かい心で接し、親切にしているわたしの姿を通して、「親切、思いやり」について考えることのできる教材(手伝う心)を扱っている。	サッカーが苦手な道夫を誘う走太の言動をきっかけに、自分の言動について振り返ろうとしているほくの姿を通して、「公正、公平、社会正義」について考えることのできる教材(道夫とほく)を扱っている。	みんなを大切に、平等に接しているとも子の姿を通して、「公正、公平、社会正義」について考えることのできる教材(同じなかまだから)を扱っている。	誰に対しても分け隔てなく接することの大切さを相手に伝えるあけみの姿を通して、「公正、公平、社会正義」について考えることのできる教材(お日様の心)を扱っている。	パラリンピックを周知する活動をすの大日方さんの姿から、「公正、公平、社会正義」について考えることのできる教材(パラリンピックにねがいこめ)を扱っている。
		第四学年	たけしの違った一面を知り、偏った見方で接していた自身の態度を振り返ったももを通して、「公正、公平、社会正義」について考えることのできる教材(となりのせき)を扱っている。	足の不自由なおばあさんに思いやり心をもつて接し、親切にしているほくの姿を通して、「親切、思いやり」について考えることのできる教材(心と心のあくしゅ)を扱っている。	男女で態度を変える京一と、「貼り付けを手伝う」と言ったにも関わらず、「怪我をした指では綺麗に貼れない」と断られた友治を通して、「公正、公平、社会正義」について考えることのできる教材(ちよっと待ってよ)を扱っている。	山小屋へ来る人のために、お米・塩・マッチを提供したデルスウを通して、「親切、思いやり」について考えることのできる教材(三つのつみ)を扱っている。	互いによく理解し、信頼し、よりよい関係を築こうとしているほくの姿を通して、「友情、信頼」について考えることのできる教材(ブラジルからの転入生)を扱っている。	信号を渡ろうとする目の不自由な人にも、勇気を出して声を掛け親切にしているほくの姿を通して、「親切、思いやり」について考えることのできる教材(心の信号機)を扱っている。
		第五学年	相手の立場を考えたり、相手の気持ちを想像したりしながら親切な行動を行ったわたしと友子を通して、「親切、思いやり」について考えることのできる教材(くずれ落ちただんボール箱)を扱っている。	大輔の努力を理解し、自分と異なる立場を尊重しているほくの姿を通して、「公正、公平、社会正義」について考えることのできる教材(位置について!)を扱っている。	互いの立場を考え、分り合うサムとビエロの姿を通して、「相互理解、寛容」について考えることのできる教材(ブランコ乗りとビエロ)を扱っている。	まさるとひろしが、広い心で自分と異なる立場を尊重し合う姿を通して、「相互理解、寛容」について考えることのできる教材(折れたタワー)を扱っている。	差別をされたガンジーが、正義の実現に向けて行動している姿を通して、「公正、公平、社会正義」について考えることのできる教材(ガンジーのいかり)を扱っている。	女性差別と戦い医師になった吟子の姿から「公正、公平、社会正義」について考えることのできる教材(女性が医師になれる社会へ 狹野吟子)を扱っている。
		第六学年	開発途上国を訪れ、子供たちのために尽力する黒柳徹子を通して、「親切、思いやり」について考えることのできる教材(みんないっしょだよー黒柳徹子)を扱っている。	人権の大切さを訴える小学生が書いた作文を通して、「公正、公平、社会正義」について考えることのできる教材(みんなが幸せに暮らせる社会へ)を扱っている。	黒人差別の時代に、マーティンが目指す世界を実現するためにはどのような考えが大切かを考えることを通して、「公正、公平、社会正義」について考えることのできる教材(私には夢がある)を扱っている。	日本・トルコの両国が互いを思いやり、人々の命を大切にしている姿から、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(エルトゥール号ー日本とトルコのつながりー)を扱っている。	外国から来たから日本語ができない、英語ができるというのは、自分の思い込みであることに気付き、他にも偏った見方をしていないか考え加奈の姿を通して、「公正、公平、社会正義」について考えることのできる教材(ピンクのバック)を扱っている。	知的障害がある人を雇用し、一緒に働く日本理化学工業の人たちの姿を通して、「相互理解、寛容」について考えることのできる教材(カラフルな工夫)を扱っている。

「採択資料1」【都立小学校調査研究資料(内容 b)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 特別の教科 道徳

発行者の番号 呼称		学年	2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	208 光文	224 学研
内 容 b	意見の対立を 扱っている教材 の扱い	第一学年	大好きなプリンをくまぐまに食べられたりくんが、食べられて嫌だったことを伝えたいと思いつつも、突き飛ばされたら嫌だという思いから迷っている姿を通して、「善悪の判断、自律、自由と責任」について考えることのできる教材(ダメ)を扱っている。	はるかと一緒に遊ぶかどうかで、わたしとゆきの考えや意見が対立している場面を通して、「公正、公平、社会正義」について考えることのできる教材(いっしょに あそぼう)を扱っている。	「うらやまにいこう」と主張するかんたと、「うらやまはあぶないから、はいてはいけない」と主張するぼんたのやりとりを通して、「善悪の判断、自律、自由と責任」について考えることのできる教材(ぼんたと かんた)を扱っている。	やまがらの誕生日会とうぐいすの家で行われる音楽会の練習のどちらに参加するかで悩むみそざいを通して、「友情、信頼」について考えることのできる教材(二つのこと)を扱っている。	行ってはいけないことになっているみどりやわに魚釣りに行こうと主張するやすおさんと、危ないから駄目と主張するしんちゃんのやりとりから、「善悪の判断、自律、自由と責任」について考えることのできる教材(みらいが かい え)を扱っている。	みらいが描いた絵を「ぼくにもみせて」と主張するげんきと「なんでもするやすおさんと、危ないから駄目とするみらいのやりとりから「公正、公平、社会正義」について考えることのできる教材(みらいが かい え)を扱っている。
		第二学年	ボールを決められた場所に返さなければならぬと分かっていながらも、誰にも取られたくないという思いから葛藤するぼくを通して、「規則の尊重」について考えることのできる教材(かくした ボール)を扱っている。	「まずだくんにいじめられる」と主張するみほちゃんと、「正しいと親切な行為をしているにも関わらず『いじめられる』と言われる」と主張するまずだくんを通して、「友情、信頼」について考えることのできる教材(みほちゃんと、となりのせきの まずだくん)を扱っている。	学校から帰ってすぐに漢字のノートを広げたくが、怠けるか頑張るか迷う姿を通して、「希望と勇気、努力と強い意志」について考えることのできる教材(ぼくは まけない)を扱っている。	自分の言い分で傷つけてしまったギロに素直に謝るか謝らないかで迷っているコロの姿を通して、「正直、誠実」について考えることのできる教材(お月さまと コロ)を扱っている。	テストでもらった△を○に書き直すことは悪いことと分かっていながらも、迷い書き直すとする一ちゃんの姿を通して、「正直、誠実」について考えることのできる教材(ねこが わらった)を扱っている。	公園の水の広場で遊んでいる子たちを注意しようとするあすかと、注意しようとするあすかを止めようとするみらいのやりとりを通して、「善悪の判断、自律、自由と責任」について考えることのできる教材(水の広場)を扱っている。
		第三学年	だいちの間違った受け取り方をきっかけに、思いが対立するだいちとれんを通して、「相互理解、寛容」について考えることのできる教材(かしたつもり×もらったつもり)を扱っている。	周囲の友達に同調しつつも、心の中では気がかけながれに意地悪をするわたしの姿を通して、「正直、誠実」について考えることのできる教材(悪いのはわたしじゃない)を扱っている。	たくやとぼくで遊び方についての意見が対立している場面を通して、「相互理解、寛容」について考えることのできる教材(日曜日の公園で)を扱っている。	机の上に出たままのりょうじの筆箱を隠し、ドッキリにしようというまに、さとみちゃんを誘うか誘わないかで迷うわたしの姿を通して、「善悪の判断、自律、自由と責任」について考えることのできる教材(たからさがし)を扱っている。	「さとみちゃんは誘わない」と主張するあやちゃんの言葉をきっかけに、さとみちゃんを誘うか誘わないかで迷うわたしの姿を通して、「善悪の判断、自律、自由と責任」について考えることのできる教材(思い切って言ったらどうなるの?)を扱っている。	「目が見えない犬の命」と「団地のきまり」とで葛藤している私の姿を通して、「生命の尊さ」について考えることのできる教材(目が見えない犬)を扱っている。
		第四学年	掃除をめぐって「自分たちで掃除するのは当たり前」と主張するぼくと、「これまで通っていた学校では、大人の清掃員さんたちが掃除をしていた」と主張するトムを通して、「相互理解、寛容」について考えることのできる教材(合言葉は「話せばわかる!」)を扱っている。	「思い出作ろう会」の内容をめぐって「やりたい人が多いものを」と主張するまささんと「遠慮したばかりのこうたさんでもできるものを」と主張するなつみさんを通して、「相互理解、寛容」について考えることのできる教材(わかってくれてありがとう)を扱っている。	正子から届いた料金不足の絵はがきをめぐって「料金不足だったことを教えた方がよい」という兄の主張と「おれだけ言った方よい」という母の主張と迷う私を通して、「友情、信頼」について考えることのできる教材(絵はがきと切手)を扱っている。	まさくんの誤った回答をみんなが笑ったことに対して、「おもしろかったら、笑っているの。」と主張するみかさんと、「おもしろかったし、まさくんも気にしてないし、みんなにうけたんだから、気にするほどじゃない。」と主張するげんきくんを通して、「公平、公正、社会正義」について考えることのできる教材(いじりといじめ)を扱っている。	子供だけでは行ってはいけないことになっている三角公園に、一緒に行かないかあきら君から誘われ、行くか行かないかで迷っているぼくの姿を通して、「善悪の判断、自律、自由と責任」について考えることのできる教材(心にプレーキ)を扱っている。	運動が苦手なたけしの味方になり、練習に出してあげようと言うべきか、言わないべきか葛藤しているそなたの姿を通して、「善悪の判断、自律、自由と責任」について考えることのできる教材(クラスたいこう全員リレー)を扱っている。
		第五学年	団員をまとめるリーダーのピエロと一人スターとしてサーカスを盛り上げるサムとの意見の対立を通して、「相互理解、寛容」について考えることのできる教材(プランコ乗りとピエロ)を扱っている。	インターネットで見つけたものを半分以上書き写して書いた自身の読書感想文が学校の代表作品に選ばれ、叱られる自分と賞状を受け取る自分を想像しながら、本当のことを言うべきかどうか迷っている知子さんの姿を通して、「正直、誠実」について考えることのできる教材(参考にするだけなら)を扱っている。	「真紀は短気だから適当に合わせておくほうがよい」と主張するわたしと、「相手によって言うことを変える人は信用できない」と主張する絵里子を通して、「相互理解、寛容」について考えることのできる教材(みんな、おかしいよ!)を扱っている。	「したいことをしたいようにできることが自由である」とするジェラル王子と「それは本当の自由ではなく、わがままである」とするガリュウの「自由」に対する意見の対立をもとに、「善悪の判断、自律、自由と責任」について考えることのできる教材(うばわれた自由)を扱っている。	大劇場での出演と男の子の前で手品をするという約束との間で葛藤している手品師の姿を通して、「正直、誠実」について考えることのできる教材(手品師)を扱っている。	悪い気分になりながらも、SNSのグループトークでコウの悪口を言い始めたナオミに同調したわたしの姿を通して、「友情、信頼」について考えることのできる教材(ひみつのグループトーク)を扱っている。
		第六学年	「隣の人のピアノがうるさい。静かに生活する権利がある。」と主張するAさんと「ピアノを弾く権利もある。」と主張するBさんを通して、「規則の尊重」について考えることのできる教材(ピアノの音が……)を扱っている。	ゆうすけさんたちのグループのターゲットにされ、ちょっかいを出されるたかひろさんを見て、何とかしてあげたいと思いつつも、何もできずにいるぼくの葛藤を通して、「公正、公平、社会正義」について考えることのできる教材(ひきょうだよ)を扱っている。	容疑を掛けられたロレンゾへの対応をめぐって、「だまって逃がす」、「自首を進める」と意見を対立させている友達の姿を通して、「友情、信頼」について考えることのできる教材(ロレンゾの友達)を扱っている。	多くのユダヤ人を助けるためにピザを発給するべきか政府の指示に従ってピザの発給をやめるべきかで葛藤している杉原千敏の姿を通して、「公正、公平、社会正義」について考えることのできる教材(杉原千敏一大勢の命を守った外交官一)を扱っている。	修学旅行の見学先や見学時間をめぐるわたしと佐藤さんの意見の対立をもとに、「相互理解、寛容」について考えることのできる教材(修学旅行の自由行動)を扱っている。	ずっと起きていようと約束した移動教室の夜、先生に注意された後もしゃべっている私たちと、気分が悪いから寝たいと主張する千葉さんのやり取りを通して「善悪の判断、自律、自由と責任」について考えることのできる教材(移動教室の夜)を扱っている。

「採択資料1」【都立小学校調査研究資料(内容 c)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 特別の教科 道徳

発行者の番号 呼称		学年	2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	208 光文	224 学研
内 容	国際社会で活躍し貢献できる人材としての資質・能力の育成に資する教材の扱い	第一学年	他国の料理の写真や他国の子供たちが行う料理の説明をもとに、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(ほかのくからきた たべもの)を扱っている。	国ごとに異なる気持ちや考えを表すしぐさに関心をもち、ことを通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(せかいのしぐさ)を扱っている。	様々な国の子供たちが遊んだり、食事をしたりしている写真を通して、様々な国の子供たちのことを知り、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(せかいのこどもたち)を扱っている。	母との会話をきっかけにオリンピック・パラリンピックに込められた願いを知り、様々な国の人々と仲良くになりたいと思った私を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(スポーツをとおして)を扱っている。	オーストラリアと日本とは、答え合わせの仕方が異なることに気付く、オーストラリアのことをもっと知りたいと思ったわたしの姿を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(エマさんのこたえ合わせ)を扱っている。	フィリピンから来たジェニーちゃんに話しかけ仲良くなったしんやの姿を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(となりのジェニーちゃん)を扱っている。
		第二学年	他国の遊びや着ているものについて調べ、他国の人々と仲良くなりたいたいという思いをもったたけしの姿を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(せかいのくのに人々と)を扱っている。	日本と世界との違いや、他国の文化や慣習に親しむことを通じて、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(くらべてみよう日本とせかい)を扱っている。	日本の主食である米が、他国でどのように食べられているか興味をもち、調べたわたしを通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(日本のお米、せかいのお米)を扱っている。	アイトからタヒチ語やタヒチの氣候について教えてもらったことをきっかけに、もっとタヒチのことを知りたいたいと考えた私を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(タヒチからの友だち)を扱っている。	ブラジルでは日本の柔道や折り紙を学校で習うことを、ジョゼくんから教えてもらったことをきっかけに、もっとブラジルのことを教えてほしいと考えた私を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(ジョゼくんとおりがみ)を扱っている。	他国の食べ物、文化に親しみ、異なる文化のよさに気付くほくの姿を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(ジェニーちゃんのおもてなし)を扱っている。
		第三学年	三つの国の違いや同じことに気付く、それぞれの国のよさを見つけたいと意欲を高めるわたしを通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(三つの国)を扱っている。	隣に引越してきたフランスの人々や文化に親しみ、自分たちと異なる文化のよさに気付くわたしの姿を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(ライラックのさく庭で)を扱っている。	フィリピンからきたリサ先生との交流をきっかけに、国際交流のよさに気付くわたしの姿を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(マサラップ)を扱っている。	他国の人々や文化に親しんだり、自分たちと異なる文化のよさに気付いたりしているわたしの姿を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(同じ小学校でも)を扱っている。	他国の文化を理解し、他国の力になろうとボランティア活動に励むあやかのお姉さんの姿を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(海をわたるランドセル)を扱っている。	他国の言語や文化について理解し、そのよさに気づくわたしの姿を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(アメリカから来たサラさん)を扱っている。
		第四学年	様々な国の小学生が行う、自分の国の学校生活の紹介を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(世界の小学生)を扱っている。	イギリスの少女マーサの学校給食を支援する活動を知り、関心をもちほくの姿を通して「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(世界の子どもたちのために)を扱っている。	世界の子供たちの大切なものと、自分たちの大切なものとを比べながら考えることを通じて、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(わたしの大切なもの)を扱っている。	ジェームズから教えてもらったプルラッシュという遊びから世界の鬼ごっこに関心をもち、調べたほくの姿を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(さくらのかけ橋)を扱っている。	百年以上も前に日本からアメリカに友好の印として送られた桜が、両国の架け橋となったことに気付いた正人の姿を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(アメリカとの出会い ジョン万次郎のぼうけん)を扱っている。	アメリカの文化や一人一人の意見や希望を大事にするアメリカ社会の考え方を知り、日本にそれらを広めた万次郎の姿を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(アメリカとの出会い ジョン万次郎のぼうけん)を扱っている。
		第五学年	折り紙の楽しさを伝え、世界の様々な問題を抱える子供たちを救った加瀬さんの姿を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(「折り紙大使」一加瀬三郎)を扱っている。	アフガニスタンで現地の人々のために活動し続けた医師 中村哲さんの姿を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(百の診療所よりも一本の用水路を一中村 哲一)を扱っている。	日本と外国の礼儀や身振りの違いを知り、他国のことをもっと知りたいと意欲を高めたいわたしを通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(小さな国際親善大使)を扱っている。	ペルーの歴史や文化、習慣等を学びながら、ペルー女子バレーボールチームの監督として、ペルーを南米1位に導いたアキラの姿を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(ペルーは立っている)を扱っている。	食事の仕方、学校内でのルール、日常生活でのマナー等、世界の国々には様々な違いがあることに気付く、国際親善に努めようとしているルネの姿を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(七十六億個のピース—星野ルネ)を扱っている。	英語力を磨き、アメリカにおいて日本の文化を伝える講演を行った新渡戸福造の生き方を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(太平洋のかけ橋 新渡戸福造)を扱っている。
		第六学年	自身の経験をもとに、エンザロ村に手作りのかまどを普及させた岸田袋袋さんを通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(エンザロ村のかまど)を扱っている。	ベトナム・フエ市の人々のために、浄水の技術指導を行った横浜水道局の人々の姿を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(ベトナムの人に安全な水を)を扱っている。	トルコの人々を救おうとする日本の人々の姿を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(エルトゥールル号—友好の始まり)を扱っている。	アイルランドの歴史を学び、国旗の赤い線が再現するために努力した吹浦さんの姿を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(東京オリンピック 国旗にこめられた思い)を扱っている。	日本の高齢者介護施設で働くリエさんの話をきっかけに、自分も様々な国の人を笑顔にしたいと考えたさくらの姿を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(ハスの花のように)を扱っている。	イランのじゅうたん「ギャッペ」に込められたカシュガイ族の女性の願いと、日本のお母さんが家族を思う気持ちと同じであると考え、「ギャッペ」を日本で広く紹介しているわたしの姿を通して、「国際理解、国際親善」について考えることのできる教材(幸せをいのって織るじゅうたん)を扱っている。

「採択資料2」【小学校調査研究(内容の総括表)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 特別の教科 道徳

項目 発行者	a 領域区分の量(主な教材の数及び割合)					b 「A 主として自分自身に関すること」を扱っている教材数							c 「B 主として人との関わりに関すること」を扱っている教材数							d 「C 主として集団や社会との関わりに関すること」を扱っている教材数							e 「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている教材数							f 情報モラルや現代的な課題を扱っている教材数	g 人物の生き方や考え方等から学ぶ教材に取り上げられている人物名及び内容項目
	主として自分自身に関すること	主として人との関わりに関すること	主として集団や社会との関わりに関すること	主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	計	① 善悪の判断、自律、自由と責任	② 正直、誠実	③ 節度、節制	④ 個性の伸長	⑤ 希望と勇気、努力と強い意志	⑥ 真理の探究	計	⑦ 親切、思いやり	⑧ 感謝	⑨ 礼儀	⑩ 友情、信頼	⑪ 相互理解、寛容	計	⑫ 規則の尊重	⑬ 公正、公平、社会正義	⑭ 勤労、公共の精神	⑮ 家族愛、家庭生活の充実	⑯ より良い学校生活、集団生活の充実	⑰ 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	⑱ 国際理解、国際親善	計	⑲ 生命の尊さ	⑳ 自然愛護	㉑ 感動、畏敬の念	㉒ よりよく生きる喜び	計				
東書	55	48	65	41	209	11	8	15	7	12	2	55	15	7	8	14	4	48	13	6	10	9	9	10	8	65	18	12	9	2	41	83	29		
教出	57	49	71	32	209	12	10	14	8	10	3	57	10	11	10	13	5	49	10	11	7	12	9	13	9	71	12	10	7	3	32	72	67		
光村	56	52	63	33	204	12	11	11	10	10	2	56	12	12	8	12	8	52	12	11	9	7	12	6	6	63	18	6	6	3	33	79	28		
日文	61	56	75	34	226	16	7	17	10	9	2	61	16	10	11	12	7	56	16	11	11	6	9	12	10	75	16	7	7	4	34	82	40		
光文	57	57	81	45	240	12	8	15	8	12	2	57	14	9	10	15	9	57	14	11	11	12	8	15	10	81	19	13	8	5	45	93	32		
学研	59	50	61	39	209	18	7	10	10	12	2	59	16	6	8	14	6	50	11	12	6	6	6	10	10	61	18	11	7	3	39	121	61		
合計値	345	312	416	224	1297	81	51	82	53	65	13	345	83	55	55	80	39	312	76	62	54	52	53	66	53	416	101	59	44	20	224	530	257		
平均値	57.5	52.0	69.3	37.3	216.2	13.5	8.5	13.7	8.8	10.8	2.2	57.5	13.8	9.2	9.2	13.3	6.5	52.0	12.7	10.3	9.0	8.7	8.8	11.0	8.8	69.3	16.8	9.8	7.3	3.3	37.3	88.3	42.8		

「採択資料3」【小学校調査研究(内容から抜粋)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 特別の教科 道徳

発行者	東書	教出	光村	日文	光文	学研
国旗・国歌の扱い	なし	なし	なし	あり	なし	なし
防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
北朝鮮による拉致問題の扱い	なし	なし	なし	なし	なし	なし
障害者理解に関する扱い	あり	あり	あり	あり	あり	あり
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	なし	あり	あり	なし	あり	あり

「採択資料4-1」【小学校調査研究(構成上の工夫)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 特別の教科 道徳

項 発行者	ア 冊数の工夫	イ 教材配列の工夫	ウ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	エ ユニバーサルデザインの視点	オ デジタルコンテンツの扱い	カ その他の工夫
東書	・各学年1冊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な教材として第1学年は34、第2学年以上は35の教材を掲載し、配列している。</li> <li>・いじめについて考える教材はまとめて配列している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年、表紙の裏に詩を掲載している。</li> <li>・巻頭、巻末に、内容項目ごとにまとめて教材名を提示している。</li> <li>・1時間の道徳授業の流れが分かるように提示している。</li> <li>・各教材の末尾に、「考えよう」を設け、発問例を示している。</li> <li>・教材によって関連教材を「つながる広がる」として紹介している。</li> <li>・巻末に学習の記録として、心に残った教材名やふり返りが書けるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年、一定の学年までの漢字にふりがなが振られている。</li> <li>・読みやすいフォントを使用している。</li> <li>・色使い、絵柄を見やすく工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの教材に二次元のコードがあり、教材に関するデジタルコンテンツが利用できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「安心・安全」「いじめについて」「情報モラル」「命について」「自分について」の5つのユニットを設けている。</li> <li>・「教材一覧表」として、道徳科の4つの視点、教材、内容項目、関係するテーマ、他教科・領域との関連をまとめて提示している。</li> </ul>
教出	・各学年1冊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な教材として、第1学年は34、第2学年以上は35の教材を掲載し、配列している。</li> <li>・学年ごとに「特に大切なテーマ」「問題や課題を解決する力を養う教材」「体験しながら考える教材」を設定し、教材をまとめて配列している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に「道徳ではこんな学び方をするよ」として、学習の仕方や活動のポイントを示している。</li> <li>・巻頭、巻末に、内容項目ごとにまとめて教材名を提示している。</li> <li>・1時間の道徳授業の流れが分かるように提示している。</li> <li>・各教材のはじめにキャラクターのふき出しで「今日はどんなことについて考えるのか」を示している。</li> <li>・各教材の末尾に、「考えよう」「深めよう」「つなげよう」「今日の学習をふり返ってみよう」を設け、発問例を示している。</li> <li>・巻末に「学習をふり返ろう」「一年間の学習をふり返ろう」として、道徳科の学習の振り返りが書けるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年、一定の学年までの漢字にふりがなが振られている。</li> <li>・色彩や文字のフォントを見やすく工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教材に二次元コードがあり、教材に関連したデジタルコンテンツが利用できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3学年以上は「タブレットを学習に生かそう」として、タブレット端末の様々な活用の仕方を紹介している。</li> <li>・「学習内容一覧」として、道徳科の4つの視点、教材、内容項目、他の教科・領域との関連、SDGsとの関連をまとめて提示している。</li> <li>・各学年の巻末に「資料」として、第1・2学年は礼儀やマナーに関すること、第3学年はコミュニケーションの取り方、第4学年は気持ちの落ち着け方、第5学年はSDGsについて、第6学年は世界人権宣言について掲載している。</li> </ul>

「採択資料4-2」【小学校調査研究(構成上の工夫)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 特別の教科 道徳

項 発行者	ア 冊数の工夫	イ 教材配列の工夫	ウ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	エ ユニバーサルデザインの視点	オ デジタルコンテンツの扱い	カ その他の工夫
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年1冊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主な教材として、「どうとくがはじまるよ」を含め、35の教材を掲載し、配列している。</li> <li>同じ内容項目が発達段階に合わせて連続しているため、ユニット単元として指導計画の工夫ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学年、表紙の裏に詩を掲載している。</li> <li>巻頭、巻末に、内容項目ごとにまとめて教材名を提示している。</li> <li>気持ちよく話し合うためのコツを掲載している。</li> <li>「道徳の学び方」という教材で自己を見つける視点が与えられている。</li> <li>「道徳で使う言葉」という教材では、登場人物を表す言葉や話型が示されている。</li> <li>各教材の末尾に、「考えよう・話し合おう」「つなげよう」を設け、発問例を示している。</li> <li>「演じて考えよう」という教材では、役割演技の際の手立てが記載されている。</li> <li>思考ツールが提示されている。(マッピング、クラゲチャート、フィッシュボーン等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年、一定の学年までの漢字にふりがなが振られている。</li> <li>挿絵、図や写真などが必ず記載されており、視覚情報が充実している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材に二次元コードがあり、教材に関連したデジタルコンテンツが利用できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達段階に合わせて、ポートフォリオ的な巻末ページが設定されている。(内容項目や教材ごとにシールや記録を記入できる)</li> <li>「この教科書が目指した〇年生の姿」として、道徳科の4つの視点、教材、内容項目、現代的な課題等との関わり、他の教科・領域との関連をまとめて提示している。</li> </ul>
日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年1冊</li> <li>別冊として「道徳ノート」を付属</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主な教材として、38の教材を掲載し、配列している。</li> <li>人との関わりについて考える教材をまとめて提示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1時間の道徳授業の流れが分かるように提示している。</li> <li>「ぐっとふかめる」ページがあり、自分の考えや友達の考えを比べることができる。</li> <li>物語文の次のページにその役割演技や話し合うという内容について書かれた教材もあり、自分ごととして捉えられるよう工夫されている。</li> <li>「考えてみよう」、「見つめよう」、「生かそう」の発問例が各教材の末尾に記載されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年、一定の学年までの漢字にふりがなが振られている。</li> <li>見やすい色づかいや読みやすいフォントが使用されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳ノートに教材ごとに二次元コードが記載されており、教材に関連したデジタルコンテンツを利用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>とびらのページや学び方のページがあり、児童に学び方を示している。</li> <li>巻末にSDGsについて掲載されている。</li> <li>「学習内容一覧」として、道徳科の4つの視点、教材、内容項目、テーマ、他の教科等との関連をまとめて提示している。</li> <li>発問がなく、授業展開に合わせて児童一人ひとりが思考を深められる道徳ノートになっている。</li> </ul>

「採択資料4-3」【小学校調査研究(構成上の工夫)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 特別の教科 道徳

項 発行者	ア 冊数の工夫	イ 教材配列の工夫	ウ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	エ ユニバーサルデザインの視点	オ デジタルコンテンツの扱い	カ その他の工夫
光文	・各学年1冊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な教材として全学年40の教材を掲載し、配列している。</li> <li>・全学年「命がかがやかせる心」「いじめをうまない心」について、まとめて配列している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に「ゆたかな心」「道徳はこんな時間です」を掲載し、道徳の時間のねらいや1時間の流れを示している。</li> <li>・「いろいろなやり方で考えてみよう」「話し合ってみよう」「まとめよう・ふりかえろう」のページがあり、学習の仕方や日常での実践について説明している。</li> <li>・各教材の末尾に、「考えよう」「まとめよう」「ひろげよう」を設け、発問例を示している。</li> <li>・「学びの足あと」を設け、振り返りができるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年、一定の学年までの漢字にふりがなが振られている。</li> <li>・本文にUD体を使用し、読みやすくなっている。</li> <li>・カラーユニバーサルの工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材によっては、二次元コードがあり、教材に関連したデジタルコンテンツを利用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵や図を使って考える方法、心を可視化するための道具(心情円やスケール)を使って比べて考える方法等を掲載している。</li> <li>・「内容項目別 教材一覧」として、教材を道徳科の4つの視点、内容項目、現代的課題、他教科との関連をまとめて提示している。</li> </ul>
学研	・各学年1冊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な教材として第1学年は34、第2年生以上は35の教材を掲載し、配列している。</li> <li>・命について考える教材といじめ防止について考える教材はまとめて掲載している。</li> <li>・ユニット教材が3つある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭には詩を掲載している。</li> <li>・巻頭、巻末に、内容項目ごとにまとめて教材名を提示している。</li> <li>・「道徳の学習が始まるよ」として、道徳科の学習の仕方を示している。</li> <li>・「つながるわたし 広がるわたし」として、自己を見つめるページを設けている。</li> <li>・「心をきたえ 自分らしくかがやこう」として、内容項目を提示している。</li> <li>・各教材の後に「考えよう」として発問例を1～2、提示している。</li> <li>・主題名を教材のページには提示していない。(巻末日次にあり)</li> <li>・「深めよう」として、直前の教材における1単位時間の発問例を掲載している。</li> <li>・巻末には、「つなげよう 広げよう」として、自己の振り返りが行えるページを設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年、一定の学年までの漢字にふりがなが振られている。</li> <li>・文字の大きさやフォント、余白、色使い等を見やすく工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10～12のデジタルコンテンツが記載されている。(二次元コード)</li> <li>・教材に関する動画、写真、音声、ワークシート資料、クイズなどが見られるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習者用端末を使用する際の注意事項を示している。</li> <li>・巻末に、1年間の道徳の学習を振り返って記入するページを設けている。</li> <li>・巻末に道徳科の4つの視点、教材、内容項目、デジタルコンテンツとの関連をまとめて提示している。</li> </ul>